

生協宅配のインターネット注文システム共通基盤「eフレンズ」 登録組合員数が前年比 117%に伸長 ～スマートフォンとタブレットが成長を牽引～



日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、会長：浅田 克己）が2000年から会員生協に提供している、宅配事業のインターネット注文システム共通基盤「eフレンズ」※1の利用が、引き続き伸長しています。

※1 日本生協連が提供する「eフレンズ」利用会員：6事業連合、1生協

コープ東北サンネット事業連合（本部：仙台市）、コープネット事業連合（本部：さいたま市）、ユーコープ事業連合（本部：横浜市）、コープ北陸事業連合（本部：金沢市）、コープ中国四国事業連合（本部：広島市）、コープ九州事業連合（本部：福岡県糟屋郡）、CO・OPとやま（本部：富山市）

◆2013年度「eフレンズ」利用状況

登録組合員数 187万人（前年比117%）
受注金額 930億円（前年比107%）

◆スマートフォンとタブレットからの注文伸長が顕著

2012年度に引き続き、スマートフォンからの注文が伸長しており、2013年度末時点の利用率は「eフレンズ」利用者全体のうち約23.3%（2012年度約14.4%）となりました。

また、タブレットからの利用率も約7～9%（地域によって差異あり）と急伸長しており、スマートデバイス合計で30%超の利用率となっています。

各会員生協では特にスマートフォン向けの売場の拡充に力を入れており、PCサイトと同等のコンテンツ制作やプロモーションを展開する生協が増えています。



「eフレンズ」スマートフォンでの閲覧例

◆2014年3月から、スマートフォンとタブレット用のWEBカタログの提供を開始

スマートフォンとタブレット向けのWEBカタログ※2を開発し、2014年3月から組合員への提供を開始しました。これまでのWEBカタログはFlash技術を用いて構築していましたが、HTML5技術を使うことでiOS端末（iPad・iPhone）でも閲覧できるようにしました。また、必要な機能を絞り込むことで、快適な操作を実現しています。提供開始以降、順調に利用者数が増えています。

※2 宅配カタログ紙面がそのままWEB画面で見られる仕組み



「e フレンズ」スマートフォンサイトでのカタログ閲覧例



「e フレンズ」タブレットでのカタログ閲覧例

◆今後の計画

スマートデバイスの普及にともない、生協宅配の利用シーンや利用傾向が変わりつつあります。日本生協連では、その変化に対応していくため、スマートフォンとタブレット向けの売り場づくりを強化していきます。また、来訪した組合員にとって「気が利く」サイトとなるように、レコメンデーション機能を強化するなど、個人別対応にも重点を置いて取り組んでいきます。

<全国の生協の宅配事業と、インターネット注文について（2013年度）>

全国の生協の宅配事業全体の登録組合員は 1,117 万人（2012 年度）、年間供給金額の合計は 1 兆 6,750 億円です。日本生協連が提供する共通基盤のほかに、独自でシステムを構築・運用している生協もあり、全国の生協のインターネット注文サイトの登録組合員数は 332 万人、受注金額は 2,237 億円となっています。全国の 96%の生協宅配でインターネット注文が可能です。

日本生協連と全国の生協では、今後もインターネット上での魅力的な宅配の売り場作りや、コミュニティ機能の拡充などを通して、よりくらしに役立つサービスを提供してまいります。

<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL：03-5778-8106